

5 ペルソナの設定

5-1 ペルソナ設定のための個人属性探索

ペルソナを設定するにあたって、自治会加入者アンケートの結果を参考にその個人属性を探索した。適宜、表に加工を施した。

5-1-1 性別

各自治会の性別は次のとおり。

表 5-1-1 性別

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
男性	42 37.5	4 26.7	3 21.4	7 43.8	6 31.6	8 57.1	3 42.9	5 31.3	6 54.5
女性	69 61.6	11 73.3	11 78.6	9 56.3	13 68.4	6 42.9	4 57.1	10 62.5	5 45.5
答えない	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
無回答	1 0.9	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 6.3	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-2 職業

各自治会の職業は次のとおり。

表 5-1-2 職業

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
自営業（農林 水産業）	3 2.7	0 0	0 0	1 6.3	2 10.5	0 0	0 0	0 0	0 0
自営業（農林 水産業以外）	1 0.9	0 0	0 0	0 0	1 5.3	0 0	0 0	0 0	0 0
会社員	9 8	0 0	1 7.1	0 0	0 0	3 21.4	3 42.9	2 12.5	0 0
団体職員	1 0.9	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
公務員	1 0.9	0 0	0 0	0 0	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0
専業主婦（主 夫）	13 11.6	1 6.7	5 35.7	1 6.3	2 10.5	0 0	1 14.3	0 0	3 27.3
学生	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
パート・アル バイト	5 4.5	0 0	0 0	0 0	2 10.5	1 7.1	1 14.3	1 6.3	0 0
無職	74 66.1	13 86.7	7 50	13 81.3	12 63.2	8 57.1	2 28.6	11 68.8	8 72.7
その他	3 2.7	1 6.7	0 0	1 6.3	0 0	0 0	0 0	1 6.3	0 0
無回答	2 1.8	0 0	0 0	0 0	0 0	1 7.1	0 0	1 6.3	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-3 世帯構成

各自治会の世帯構成は次のとおり。

表 5-1-3 世帯構成

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
一人暮らし	42 37.5	12 80.0	4 28.6	4 25.0	8 42.1	5 35.7	3 42.9	5 31.3	1 9.1
夫婦のみ	42 37.5	1 6.7	4 28.6	8 50.0	6 31.6	4 28.6	4 57.1	5 31.3	10 90.9
二世帯同居（親 と子）	17 15.2	0 0.0	5 35.7	0 0.0	4 21.1	5 35.7	0 0.0	3 18.8	0 0.0
三世帯同居（祖 父母と親と子）	2 1.8	1 6.7	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	5 4.5	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0
無回答	4 3.6	1 6.7	1 7.1	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-4 住居形態

各自治会の住居形態は次のとおり。

表 5-1-4 住居形態

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
持ち家	89 79.5	13 86.7	0 0	14 87.5	17 89.5	14 100	7 100	14 87.5	10 90.9
賃貸	15 13.4	1 6.7	11 78.6	1 6.3	1 5.3	0 0	0 0	1 6.3	0 0
その他	3 2.7	0 0	2 14.3	0 0	1 5.3	0 0	0 0	0 0	0 0
無回答	5 4.5	1 6.7	1 7.1	1 6.3	0 0	0 0	0 0	1 6.3	1 9.1

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-5 世帯収入の形態

各自治会の世帯収入の形態は次のとおり。

表 5-1-5 世帯収入の形態

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
自営業（農林 水産業）	3 2.7	0 0	0 0	1 6.3	2 10.5	0 0	0 0	0 0	0 0
自営業（農林 水産業以外）	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
給与	12 10.7	0 0	2 14.3	0 0	0 0	5 35.7	3 42.9	1 6.3	1 9.1
年金	90 80.4	15 100	10 71.4	13 81.3	16 84.2	8 57.1	4 57.1	15 93.8	9 81.8
その他	2 1.8	0 0	1 7.1	1 6.3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
無回答	5 4.5	0 0	1 7.1	1 6.3	1 5.3	1 7.1	0 0	0 0	1 9.1

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-6 生活に対する経済的不安度

各自治会の生活に対する経済的不安度は次のとおり。

表 5-1-6 生活に対する経済的不安度

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二波自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
経済的に不 安はない	23 20.5	5 33.3	1 7.1	2 12.5	5 26.3	1 7.1	4 57.1	3 18.8	2 18.2
経済的にや や不安	47 42.0	4 26.7	6 42.9	9 56.3	7 36.8	3 21.4	3 42.9	8 50.0	7 63.6
経済的に不 安	22 19.6	5 33.3	3 21.4	2 12.5	5 26.3	4 28.6	0 0	2 12.5	1 9.1
経済的にと ても不安	17 15.2	1 6.7	3 21.4	2 12.5	2 10.5	6 42.9	0 0	2 12.5	1 9.1
無回答	3 2.7	0 0	1 7.1	1 6.3	0 0	0 0	0 0	1 6.3	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-7 自治会内の暮らしへの総不便体感度

各自治会内の暮らしへの総不便度は次のとおり。

表 5-1-7 自治会内の暮らしへの総不便体感度

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	姶良市・ 永瀬自治 会	姶良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
不便なく、安心して暮らしている	23 20.5	2 13.3	4 28.6	5 31.3	3 15.8	0 0	5 71.4	2 12.5	2 18.2
やや不便ではあるが、大きな問題なく暮らしている	46 41.1	5 33.3	6 42.9	7 43.8	8 42.1	4 28.6	1 14.3	7 43.8	8 72.7
不便を感じており、不安なことはあるが、なんとか暮らしている	30 26.8	5 33.3	3 21.4	2 12.5	5 26.3	8 57.1	1 14.3	5 31.3	1 9.1
とても便利が悪く、暮らしにくい	6 5.4	2 13.3	0 0	1 6.3	2 10.5	1 7.1	0 0	0 0	0 0
無回答	7 6.3	1 6.7	1 7.1	1 6.3	1 5.3	1 7.1	0 0	2 12.5	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-8 単独外出の可否

各自治会の単独外出の可否は次のとおり。

表 5-1-8 単独外出の可否

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
一人で外出 できる	95 84.8	12 80.0	13 92.9	15 93.8	14 73.7	11 78.6	5 71.4	16 100.0	9 81.8
一人で外出 できない	17 15.2	3 20.0	1 7.1	1 6.3	5 26.3	3 21.4	2 28.6	0 0	2 18.2
無回答	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-9 外出の頻度

各自治会の外出の頻度は次のとおり。

表 5-1-9 外出の頻度

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	97	12	13	15	14	11	5	16	11
ほとんど外出 しない	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
月に1回程度	5 5.3	0 0	2 15.4	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0	2 18.2
月に2～3回 程度	12 12.6	4 33.3	1 7.7	0 0	4 28.6	0 0	1 20.0	1 6.3	1 9.1
週に1～2回 程度	26 27.4	4 33.3	2 15.4	4 26.7	2 14.3	4 36.4	1 20.0	8 50.0	1 9.1
週に3～4回 程度	30 31.6	4 33.3	4 30.8	7 46.7	4 28.6	3 27.3	1 20.0	5 31.3	2 18.2
ほぼ毎日	22 23.2	0 0	4 30.8	4 26.7	3 21.4	4 36.4	2 40.0	2 12.5	3 27.3
無回答	2 2.1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 18.2

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-10 外出の手段

各自治会の外出の手段は次のとおり。

表 5-1-10 外出の手段

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	姶良市・ 永瀬自治 会	姶良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	97 9.7	12 16.7	13 15.4	15 20	14 0	11 9.1	5 0	16 6.3	11 0
徒歩	9 9.3	2 16.7	2 15.4	3 20	0 0	1 9.1	0 0	1 6.3	0 0
自転車	1 1.03	0 0	1 7.7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
バイク	1 0.01	0 0	0 0	0 0	0 0	1 9.1	0 0	0 0	0 0
自家用車	74 76.3	8 66.7	8 61.5	12 80.0	10 71.4	8 72.7	5 100.0	15 93.8	8 72.7
タクシー	2 2.1	0 0	0 0	0 0	1 7.1	1 9.1	0 0	0 0	0 0
公共交通機関 (JR、バス等)	2 2.1	0 0	1 7.7	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0	0 0
隣近所や知人の 自家用車に同乗 させてもらう	2 2.1	1 8.3	0 0	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0	0 0
その他	4 4.1	1 8.3	1 7.7	0 0	1 7.1	0 0	0 0	0 0	1 9.1
無回答	2 2.1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 18.2

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-1 情報通信機器の利用の有無

各自治会の情報通信機器の利用の有無は次のとおり。

表 5-1-1 情報通信機器の利用の有無

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	姶良市・ 永瀬自治 会	姶良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
利用して いる	81 72.3	10 66.7	14 100.0	11 68.8	11 57.9	9 64.3	4 57.1	14 87.5	8 72.7
利用して いない	29 25.9	5 33.3	0 0	3 18.8	8 42.1	5 35.7	3 42.9	2 12.5	3 27.3
無回答	2 1.8	0 0	0 0	2 12.5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-12 情報通信機器の利用目的

各自治会の情報通信機器の利用の目的は次のとおり。

表 5-1-12 情報通信機器の利用目的

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	81 92.6	10 100.0	14 100.0	11 81.8	11 100.0	9 100.0	4 50.0	14 100.0	8 75.0
電話（通話）	75 92.6	10 100.0	14 100.0	9 81.8	11 100.0	9 100.0	2 50.0	14 100.0	6 75.0
LINE等の無料メッ セージサービス	35 43.2	3 30.0	9 64.3	5 45.5	5 45.5	3 33.3	2 50.0	6 42.9	2 25.0
インターネットサイ トの閲覧	20 24.7	1 10.0	5 35.7	4 36.4	2 18.2	2 22.2	2 50.0	3 21.4	1 12.5
電子メールの送受信	15 18.5	1 10.0	4 28.6	2 18.2	1 9.1	2 22.2	1 25.0	2 14.3	2 25.0
インターネット ショッピング	11 13.6	0 0.0	3 21.4	2 18.2	1 9.1	2 22.2	1 25.0	2 14.3	0 0.0
SNSでの情報発信	5 6.2	0 0.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
その他	2 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0
無回答	2 2.5	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段は度数、下段は割合（％）

5-1-13 住まいの地域への望ましい施策

各自治会の住まいの地域への望ましい施策は次のとおり。

表 5-1-13 住まいの地域への望ましい施策

		霧島市・ 高千穂5区 自治会	霧島市・ 菩提寺団 地自治会	伊佐市・ 朝日町自 治会	伊佐市・ 宮人自治 会	始良市・ 永瀬自治 会	始良市・ 明神自治 会	湧水町・ 二渡自治 会	湧水町・ 麓自治会
全体	112	15	14	16	19	14	7	16	11
買物の支援	29 25.9	8 53.3	3 21.4	4 25	8 42.1	2 14.3	2 28.6	2 12.5	0 0
日常生活の支援	25 22.3	7 46.7	4 28.6	2 12.5	5 26.3	2 14.3	3 42.9	1 6.3	1 9.1
地域医療の充実	34 30.4	5 33.3	3 21.4	4 25.0	10 52.6	1 7.1	3 42.9	3 18.8	5 45.5
交通手段の確保・ 充実	46 41.1	8 53.3	7 50.0	5 31.3	13 68.4	5 35.7	2 28.6	3 18.8	3 27.3
自主防災組織の機 能強化	13 11.6	2 13.3	0 0	1 6.3	6 31.6	2 14.3	1 14.3	1 6.3	0 0
防災情報伝達の強 化	21 18.8	1 6.7	3 21.4	4 25.0	6 31.6	3 21.4	3 42.9	0 0	1 9.1
支所等の窓口機能 の出張サービス	9 8.0	2 13.3	1 7.1	0 0	4 21.1	0 0	2 28.6	0 0	0 0
情報・通信インフ ラの整備	9 8.0	1 6.7	0 0	2 12.5	5 26.3	0 0	0 0	1 6.3	0 0
まちづくりを担う 人材の育成	22 19.6	5 33.3	1 7.1	3 18.8	9 47.4	2 14.3	0 0	1 6.3	1 9.1
移住の促進	8 7.1	2 13.3	0 0	1 6.3	3 15.8	0 0	0 0	2 12.5	0 0
地域イベントの開 催支援	10 8.9	2 13.3	0 0	1 6.3	3 15.8	2 14.3	1 14.3	1 6.3	0 0
空き家の利活用の 促進	25 22.3	4 26.7	1 7.1	3 18.8	5 26.3	5 35.7	1 14.3	5 31.3	1 9.1
就職先の確保	9 8.0	0 0	1 7.1	2 12.5	3 15.8	0 0	1 14.3	2 12.5	0 0
農林水産業の後継 者の確保	14 12.5	0 0	0 0	3 18.8	5 26.3	2 14.3	1 14.3	3 18.8	0 0
安定した水・電気 の確保	9 8.0	2 13.3	0 0	1 6.3	3 15.8	0 0	2 28.6	0 0	1 9.1
森林の整備	15 13.4	2 13.3	0 0	1 6.3	6 31.6	0 0	0 0	5 31.3	1 9.1
鳥獣被害対策	20 17.9	2 13.3	4 28.6	0 0	10 52.6	1 7.1	0 0	3 18.8	0 0
その他	16 14.3	0 0	5 35.7	2 12.5	1 5.3	2 14.3	1 14.3	2 12.5	3 27.3
無回答	21 18.8	1 6.7	1 7.1	5 31.3	2 10.5	5 35.7	1 14.3	3 18.8	3 27.3

上段は度数、下段は割合（％）

5-2 設定したペルソナ

4-1 のモデル 8 自治会の現状や、5-1 の探索の結果からモデル 8 自治会内の居住する「困っている方」のペルソナを次のとおり、設定した。

5-2-1 霧島市

(1) 高千穂5区自治会

表 5-2-1-(1) 霧島市・高千穂5区自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	高千穂 三郎
	年齢	81
		自治会加入者アンケート回答者の平均
	性別	男性
		・本報告書110ページ 性別「男性 26.7%」 ・ペルソナの男性割合を一定程度担保するため便宜的に設定
	職業（就労）	無職
		本報告書111ページ 職業「無職 86.7%」
	収入の手段	年金
		本報告書114ページ 世帯収入の形態「年金 100%」
	経済的な不安	経済的にやや不安
		本報告書115ページ 生活に対する経済的不安度「不安 33.3%」 「不安はない 33.3%」
	世帯人数	一人暮らし
		本報告書112ページ 世帯構成「一人暮らし 80.0%」
	近くに住む親族の有無	近くに妹がいる。
		本報告書93ページ 相談相手の具体例を参考に独自に設定
移動手段	身体的障がいの有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく，独自で設定
	既往症	なし
		参考データや具体的な記述がなく，独自で設定
	・運転免許の保有 ・自家用車での移動の可否	運転免許を保有しており，自家用車での移動が可能。
		・本報告書117ページ 単独外出の可否「一人で外出できる 80.0%」 ・本報告書119ページ 外出の手段「自家用車 66.7%」
	徒歩での移動可能距離	徒歩 5～10 分ほど歩いて移動できる。
		参考データや具体的な記述がなく，独自で設定
	買物や通院の移動手段	自家用車や知人の車に同乗するなどして移動している。
		本報告書119ページ 外出の手段「隣近所や知人の自家用車に同乗させてもらう 8.3%」

移動手段	移動手段の課題	公共交通機関があまり便利ではない地域のため、福祉コミュニティバスや、市街地まで買物に連れて行ってくれるバス若しくはタクシーのサービスがあれば、助かる。
		・本報告書 94 ページ 自治会内の暮らしの不便「公共交通機関不便度」高い傾向 ・本報告書 92 ページ 自治会加入者アンケートの自由記述「買物に連れて行くバスとかタクシーとかあったら助かる」
買物	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離 ・自宅から最も品揃えが良い日用品、食料品店までの移動手段と距離	・市街地まで同じくらいの距離のある他の自治会と比べて、日用品の購入や金融機関の利用に不便を感じている。 ・移動販売や配達、買物代行、ネットスーパーといったサービスがあるようだが、今はあまり必要としておらず、詳しくは知らない。 ・ドラッグストアが一軒でもあれば助かる。
		・本報告書 94 ページ 自治会内の暮らしの不便「金融機関不便度」「身近日用品購入不便度」高い傾向 ・本報告書 94 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」等 低い傾向 ・本報告書 92 ページ 自治会自治会加入者アンケートの自由記述「ドラッグストアがあったら良い」等
	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーのサービスがあると耳にしたことがあるが、具体的な利用方法は詳しくない。
		本報告書 94 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」「買物代行サービス認知度」等 低い傾向
医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離 ・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	市街地まで同じくらいの距離のある他の自治会と比べて、通院や早期受診について不便を感じている。
		本報告書 94 ページ 自治会内の暮らしの不便「かかりつけ医不便度」「早期受診不便度」高い傾向

医療福祉	・訪問医療サービスの有無	・有 ・高千穂5区自治会と同じように市街地から遠くにある自治会で訪問サービスがあると聞いたことがあるが、あまり詳しいことは分からない。
	・訪問介護サービスの有無	・霧島市からの情報提供 ・本報告書 94 ページ 困っている方向け支援・サービス 「訪問型生活支援サービス認知度」低い傾向
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	近所の友人や自治会長さんに相談している。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告 37 ページ 暮らしの相談者・相談機関の自由記述「自治会長」記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	詳しくは知らないが、そういった組織が自治会内にあれば助かる。
		・本報告書 94 ページ 支援組織や NPO の有無「知らない」
情報入手	インターネットの利用可否	インターネットはあまり使っていない。
		本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「インターネットサイトの閲覧 10.0%」
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用程度	広報紙に目を通すようにしている。
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	LINE 若しくはメールの利用可否	LINE 程度なら使える。
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	携帯電話での通話の可否	できる。
		・本報告書 120 ページ 情報通信機器の利用有無「利用している 66.7%」 ・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「電話 100%」

その他，生活 上困っていること	・移動販売などの買物支援を充実させてほしい。 ・路線バスの便数を増やすなど交通手段の確保を考えてほしい。 ・空き家が増えてきており，何かに活用できないか考えてしまう。
	・本報告 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「買物の支援 53.3%」「交通手段の確保・充実 53.3%」等 ・本報告 91 ページ 自治会住民が望むこと 高千穂 5 区代表者の回答「空き家の利活用の促進」

(2) 菩提寺団地自治会

表 5-2-1-(2) 霧島市・菩提寺団地自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	菩提寺 次子
	年齢	72
		本報告書 50 ページ 個人属性・年齢
	性別	女性
		・本報告書 110 ページ 性別「女性 78.6%」 ・本報告書 50 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 50.0%」 ・本報告書 50 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	（国民）年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 71.4%」 ・本報告書 50 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	・物価高のあおりで、経済的にやや不安。 ・自分と夫の定期的な通院が必要でお金がかかる
		・本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 42.9%」「不安 21.4%」「とても不安 21.4%」 ・本報告書 50 ページ 個人属性「病院に通っている」記述
	世帯人数	夫婦 2 人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「夫婦のみ 28.6%」 ・本報告書 50 ページ 個人属性・世帯人数
	近くに住む親族の有無	鹿児島市に娘がいて、月に 1 回程度来てくれる
		本報告書 52 ページ 買物や移動などの日常生活での困りごと「車で連れて行ってもらっていた」記述
	身体的障がいの有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	既往症	以前、足の複雑骨折をして歩行が多少困難
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

移動手段	・運転免許の保有	・娘から「高齢者事故を起こしてほしくない」と懇願され、夫婦ともに３年前に免許返納した。 ・免許返納しており、できない。
	・自家用車での移動の可否	・本報告書 117 ページ 単独外出の可否「一人で外出できる 92.9%」 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 61.5%」 ・本報告書 53 ページ「外出と外出の手段」記述 「まだ運転可能」
	徒歩での移動可能距離	片道 15 分程度 参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・徒歩やバスなどの公共交通機関 ・タクシーを利用したいが、値段が高く、予約も取れない。 ・鹿児島市の専門医に診察を月に 1 回受けているが、路線バスの乗り方が難しい上、JR などの公共交通機関を乗り継ぐのは大変。 ・周囲の知人は免許返納後の生活に不安を覚えているようだ。 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「徒歩 15.4%」 ・本報告書 52 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「巡回バスがある」「バスの乗り方が難しい」等記述 ・本報告書 53 ページ 外出と外出の手段「免許を返すことが寂しい」「(タクシーは) 値段が高い」「(タクシーは) ほとんど予約が取れない」等記述
買物	・自宅から最も近い日用品、食料品店までの移動手段と距離	歩いて 15 分のところにスーパーがあるが、以前の骨折の影響で頻繁には買物に行けない。別の自治会では移動販売サービスがあると聞いたことがあるが、詳しいことは分からない。
	・自宅から最も品揃えが良い日用品、食料品店までの移動手段と距離	・本報告書 96 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」低い傾向 ・本報告書 52 ページ「徒歩で片道 15 分のところにスーパーが(中略)ある」記述
	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売車が以前は回ってきたが、今はない。今後もっと年を重ねてからが不安なので、移動販売サービスがあれば嬉しい。 ・本報告書 52 ページ 買物や移動などの日常生活での困りごと「以前は生協を利用していた」記述 ・本報告書 96 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」低い傾向 ・本報告書 52 ページ「移動販売が来てくれたらいい」記述

医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離 ・設備の整った医療機関までの移動手段と距離 ・訪問医療サービスの有無 ・訪問介護サービスの有無	・夫と同じ病院に定期通院しているが、遠くにあり不便。 ・将来に備えて、訪問型の介護や生活支援サービスがあればと思うことがあるが、こういったサービスがあるのかよく分からない。
		・本報告書 96 ページ 自治会内の暮らしの不便 「かかりつけ医不便度」 高い傾向 ・本報告書 96 ページ 困っている方向け支援・サービス 「訪問型生活支援サービス認知度」 低い傾向 ・本報告書 52 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと 「すぐに利用できる（中略）サービスがない」 記述
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	団地内に公民館があるが、定期的な集まりは少ない。みんなが集まる場所になればいいないつも思っている。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告書 52 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと 「集まる場がない」 記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	まちづくり委員会という組織があると聞いたことがある。
		本報告書 96 ページ 支援組織や NPO の有無 「まちづくり委員会」
情報入手	・インターネットの利用可否	・ネットショッピングなどに利用している。 ・目も遠くなってきており、あまり見ない。
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用程度	・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的 「インターネットショッピング 21.4%」 ・本報告書 54 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談 「文字を見るのが大変」 記述
	・LINE 若しくはメールの利用可否 ・携帯電話での通話の可否	・LINE は便利で結構使う。子供との連絡は LINE がほとんど。 ・できる。 ・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的 「LINE 等の無料メッセージサービス 64.3%」 ・本報告書 54 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談 「電話（中略）利用」 記述
その他、生活上困っていること	・急に病院に行くためタクシーを使いたいが、なにか方策はないだろうか。 ・みんなで集まれて、買物が楽しくなるような集いの場やサービスはないだろうか。	
	・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策 「交通手段の確保・充実 50.0%」 ・本報告書 55 ページ 暮らしの将来 「集いの場とサービスの組み合わせ」 記述	

5-2-2 伊佐市
(1) 朝日町自治会

表 5-2-2-(1) 伊佐市・朝日町自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	朝日 太郎
	年齢	80
		本報告書 56 ページ 個人属性・年齢
	性別	男性
		・本報告書 110 ページ 性別「男性 43.8%」
		・本報告書 56 ページ 個人属性
		・ペルソナの男性割合を一定程度担保するため便宜的に設定
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 81.3%」 ・本報告書 56 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	（厚生）年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 81.3%」 ・本報告書 56 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	経済的にやや不安。
		本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 56.3%」「不安 12.5%」「とても不安 12.5%」
	世帯人数	夫婦 2 人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「夫婦のみ 50.0%」 ・本報告書 56 ページ 個人属性・世帯人数
	近くに住む親族の有無	同じ市内に息子がいるが仕事で忙しく、あまり頼めない。
		本報告書 59 ページ 外出と外出の手段「忙しく断られることがある」記述
	身体的障がいの有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	既往症	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

移動手段	・運転免許の保有 ・自家用車での移動の可否	高齢者事故を起こしたくはないが、免許返納すれば生活に困るため、遠出しない範囲で運転している。 ・本報告書 117 ページ 単独外出の可否「一人で外出できる 93.8%」 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 80.0%」 ・本報告書 59 ページ 外出と外出の手段「運転を続けたい」記述
	徒歩での移動可能距離	片道 10 分程度 参考データや具体的な記述がなく、独自で設定。
	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・近くであれば自転車を利用。少し遠くは車を使う。 ・セルフガソリンスタンドの使い方が分からず、困っている。息子と一緒にでないと給油ができないため、あまり車を利用しない理由の一つ。 ・行政から補助のあるタクシーを使いたい、補助券がすぐになくなってしまったため、あまり使えずにいる。 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 80.0%」 ・本報告書 58 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「スタンドがセルフになり、給油方法が分からない」記述 ・本報告書 59 ページ 外出と外出の手段「買物にタクシーを使いたい」「タクシー券がもう少し増えたら」記述
	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離、自宅から最も品揃えが良い日用品、食料品店までの移動手段と距離	・歩いてすぐのところにコンビニがあるが、肉や魚、野菜といった食料品がそろわない。近所のスーパーも閉店してしまった。 ・移動販売サービスは少しわかるが、配達や買物代行、ネットスーパーのサービスについては詳しいことはあまりわからない。情報があればほしい。 ・本報告書 98 ページ 自治会内の暮らしの不便「食料・日用品不便度」「買物機会不便度」等 高い傾向 ・本報告書 98 ページ 困っている方向け支援・サービス「配達サービス認知度」「ネットスーパー認知度」等 低い傾向
	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売サービスは少しわかるが、配達や買物代行、ネットスーパーのサービスについては詳しいことはあまりわからない。情報があればほしい。 本報告書 98 ページ 困っている方向け支援・サービス「配達サービス認知度」「ネットスーパーサービス認知度」等 低い傾向

医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離	買物に比べて、かかりつけ医さんが近くにいるので不安はあまりない。ただ、受診日が限られており、不便を感じることもある。
	・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	本報告書 98 ページ 自治会内の暮らしの不便「受診機会不便度」高い傾向 「かかりつけ医不便度」低い傾向
	・訪問医療サービスの有無	高齢・福祉サービスがあまり充実しているとは言えない。訪問型の生活支援サービスなどについても知りたい。
	・訪問介護サービスの有無	・本報告書 98 ページ 自治会内の暮らしの不便「高齢者・福祉サービス不便度」高い傾向 ・本報告書 98 ページ 困っている方向け支援・サービス「訪問型生活支援サービス認知度」低い傾向 ・伊佐市からの情報提供
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	いきいきサロンの場で高齢者同士いろいろと情報交換をしている。愚痴も聞いてもらえて、ストレス発散にもつながっているが、こういった集まりに来られない人もいと聞いた。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告書 60 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「いきいきサロンに行けば（中略）話を聞いてくれる」記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	市内の別の地域だが、地区コミュニティー協議会の単位でお助け隊という組織があると聞いた。
		本報告書 98 ページ 支援組織や NPO の有無「地区コミュニティー協議会単位でお助け隊がある」
情報入手	・インターネットの利用可否	・インターネットは「怖い」というイメージが強く、ほとんど利用していない。 ・テレビや新聞、行政広報紙はよく見るようにしている。
	・テレビや新聞からの情報入手	本報告書 60 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「ネットは怖い」「（広報紙に）よく目を通して」記述
	・行政広報紙の活用程度	
	・LINE 若しくはメールの利用可否 ・携帯電話での通話の可否	・「LINE が便利だ」と聞くが、なにか面倒に巻き込まれたくないので、携帯電話のメール機能だけを使っている。 ・できる。 ・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「電子メールの送受信 18.2%」 ・本報告書 60 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「変な電話がかかってきた」

その他，生活上困っていること	・将来，車を利用できなくなることが不安。妻は運転免許を持っておらず，私が免許返納するか，動けなくなると，買物や外出はどうすればいいのか。 ・ほかの市町に比べて公共交通機関が不便だと感じる。最近，市内でライドシェアが始まったと聞いた。いろいろ知りたい。
	・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「交通手段の確保・充実 31.3%」「買物の支援 25.0%」 ・本報告書 61 ページ 暮らしの将来「バスはどんどん路線や便数が減っていく」等記述

(2) 宮人自治会

表 5-2-2 -(2) 伊佐市・宮人自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	宮人 三子（みつこ）
	年齢	75
		本報告書 62 ページ 個人属性・年齢
	性別	女性
		・本報告書 110 ページ 性別「女性 68.4%」 ・本報告書 62 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 63.2%」 ・本報告書 62 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	（遺族）年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 84.2%」 ・本報告書 62 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	経済的に不安がある
		本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 36.8%」「不安 26.3%」「とても不安 10.5%」
	世帯人数	夫と死別し、現在は一人暮らし。
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「一人暮らし 42.1%」 ・本報告書 62 ページ 個人属性・世帯人数
	近くに住む親族の有無	車で 5 分程度の場所に息子夫婦が住んでいる。
		本報告書 62 ページ 個人属性「隣接する住宅に住む」記述
移動手段	身体的障がいの有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
		なし
	既往症	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	・運転免許の保有 ・自家用車での移動の可否	高齢者事故を起こしたくはないので、80 歳までには返納を考えているが、返納後の移動手段に不安がある。タクシー利用も選択肢。 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 71.4%」 ・本報告書 65 ページ 外出と外出の手段「返納を（中略）考えている」「（返納後の移動は）タクシーやコミュニティバス」等記述
	徒歩での移動可能距離	片道 10 分程度
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

移動手段	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・外出は基本的に車を使う。 ・いまは車で移動できるが、免許返納後はコミュニティバスを利用することになると思う。1日3便程度しかなくて不便と感じる。 ・隣近所や知人の車に乗せてもらうことがあるが、お願いするのが申し訳ないという気持ちがある。何か御礼を渡したほうが良いのか、悩む。 ・行政から補助のあるタクシーを使いたいが、補助券がすぐになくなってしまったため、あまり使えずにいる。いざという時のために取っている。
		本報告書 65 ページ 外出と外出の手段「（免許返納後の移動は）タクシーやコミュニティバス」「（知人の車に同乗は）お願いするのは申し訳ない」「タクシー券を充実してほしい」等記述
買物	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・食料品や日用品を買う小売店は遠いが、今は車があるので市中心部に月に2～3回買物に出かける。併せて、ガソリンスタンドでの給油もしているが、ガソリンスタンドも遠くて不便。 ・買物には現金が必要だが、郵便局も遠くにあり、不便を感じる。
	・自宅から最も品揃えが良い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・本報告書 64 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「小売店が遠い」「近所のガソリンスタンドが閉鎖」等記述 ・本報告書 100 ページ 自治会内の暮らしの不便「買物機会不便度」「郵便局不便度」高い傾向
	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	・スーパーなりざわが運営する移動販売車が週に1回自宅近くまで来るので利用している。便利だと感じる。 ・配達や買物代行、ネットスーパーのサービスもあると聞いたことがあるが、詳しくはあまり知らない。 ・本報告書 100 ページ 困っている方向け支援・サービス「ネットスーパーサービス認知度」低い傾向 ・本報告書 64 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「移動販売が（中略）来る」等記述
医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離	買物に比べて、かかりつけ医さんが近くにいるので不安はあまりない。ただ、受診日が限られており、不便を感じることもある。
	・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	本報告書 100 ページ 自治会内の暮らしの不便「受診機会不便度」高い傾向

医療福祉	・訪問医療サービスの有無	・有 ・訪問型の生活支援サービスについていろいろ聞いたことはあるが、具体的にはあまり知らない。
	・訪問介護サービスの有無	・本報告書 100 ページ 困っている方向け支援・サービス「訪問型生活支援サービス認知度」低い傾向 ・伊佐市からの情報提供
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	月 2 回のいきいきサロンの場で高齢者同士いろいろと情報交換をしている。一方で、地区外から引っ越ししてくる人は、なかなか地域になじめず孤立しがちと覚めることもある。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告書 66 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「同級生が（中略）近所にたくさんいる」「地区外から引っ越ししてくる人は孤立しがち」等記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	市内の別の地域だが、地域お助け隊という組織があると聞いた。障子の張替、病院への薬受け取り、買物代行もやっているそう。自分の住む地域にもあれば、みんなの暮らしが良くなりそう。
		・本報告書 100 ページ 支援組織や NPO の有無「羽月西校区お助け隊」記述 ・本報告書 67 ページ 暮らしの将来「うまく活用することで、（中略）暮らしやすくなる」記述
情報入手	インターネットの利用可否	インターネットは利用しているが、十分に使えているとはいえない。 ・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「インターネットサイトの閲覧 18.2%」 ・本報告書 66 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「十分とは言えない」記述
	・テレビや新聞からの情報入手	よく見るようにしている。
	・行政広報紙の活用程度	本報告書 66 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「市報や新聞（よく読んでいる）」記述
	・LINE 若しくはメールの利用可否	・LINE はメッセージのやり取り程度はできる。 ・できる。
	・携帯電話での通話の可否	本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「LINE 等の無料メッセージサービス 45.5%」

その他，生活上困っていること	・将来，車を利用できなくことを考えると，移動販売車が地域に来てくれれば生活レベルも維持されるのではと感じる。行政の移動サービスもあれば，さらに気軽に困りごと相談もできるのだが。
	・乗合タクシー（ライドシェア）サービスが始まったと新聞で知った。ただそれ以上詳しい情報がないため，利用までには至っていない。期待はある。
	・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「交通手段の確保・充実 68.4%」「買物の支援 42.1%」 ・本報告書 67 ページ 暮らしの将来「乗合タクシーに（中略）期待している。制度が分からないので，利用には至っていない」等記述

5-2-3 始良市

(1) 永瀬自治会

表 5-2-3-(1) 始良市・永瀬自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	永瀬 四ツ子
	年齢	80
		本報告書 68 ページ 個人属性・年齢
	性別	女性
		・本報告書 111 ページ 性別「女性 42.9%」 ・本報告書 68 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 57.1%」 ・本報告書 68 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 57.1%」 ・本報告書 68 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	経済的にとても不安だ。
		・本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「とても不安 42.9%」
	世帯人数	障がいのある夫との二人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「夫婦のみ 28.6%」 ・本報告書 68 ページ 個人属性・世帯人数
移動手段	近くに住む親族の有無	大隅半島に息子がいるが、忙しく急な用事は頼めない。 本報告書 71 ページ 外出と外出の手段
	身体的障がいの有無	夫及び自らに身体障がいがある。
		本報告書 68 ページ 個人属性「ヘルパーが自宅に来て」記述
	既往症	腰痛の手術を過去に受けたことがあり、現在も通院中。
		本報告書 68 ページ 個人属性「入院し、（中略）病院に通っている」記述
	・運転免許の保有 ・自家用車での移動の可否	夫婦ともに身体障がいがあり、長い距離を歩くのが難しい。腰痛や身体障がいのため長距離運転はできない。 ・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 72.7%」 ・本報告書 70 ページ「長い距離を歩くことができない」記述
	徒歩での移動可能距離	片道 5 分ほど 参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

移動手段	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・かかりつけ医が3か所ある。最も近い内科は車で5分ほどで車で行くが、あと2か所は長距離となり、バスを使わないといけない。 ・通院や買物にタクシーをもっと利用したいが、年間6千円ほどでは十分とは言えない。依頼してもすぐに来てくれないケースが多い。 ・自分が希望するタイミングでイオンやタイヨーに行きたいが、車を運転して出かけるのは大変なので我慢をしている。
		本報告書71ページ 外出と外出の手段「通院したり、買物に出かけたりするときに（タクシーを）使いたい」「タクシー券の支給額を増やしてほしい」等記述
買物	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・市街地から遠くにあるほかの自治会と同様に、食料品や日用品を買う小売店が遠く不便を感じる。公共交通機関も不便で、食料品の買い出しにも苦勞する。 ・郵便局や金融機関にも不便を感じる。
	・自宅から最も品揃えが良い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・本報告書70ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「小売店が遠い」「バスが利用しにくい」「長い距離を歩けない」等記述 ・本報告書102ページ 自治会内の暮らしの不便「金融機関不便度」「郵便局不便度」高い傾向
	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売や配達、ネットスーパーのサービスがあるのか、ないのか、詳しいことはわからない。 本報告書102ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」「ネットスーパーサービス認知度」等 低い傾向
医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離	買物と同様、かかりつけ医へのアクセスに不便を感じる。バスとの接続が悪く、30分の診察のためほぼ一日を使ってしまうこともある。
	・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	・本報告書102ページ 自治会内の暮らしの不便「かかりつけ医不便度」高い傾向 ・本報告書73ページ 暮らしの将来「バスが使いづらい」「コミュニティバスが（中略）なかなか使えない」等記述

医療福祉	・訪問医療サービスの有無	・有 ・私は訪問サービスを利用しているが、自治会内には「訪問型の生活支援サービスについていろいろ聞いたことはあるが、具体的にはあまり知らない」という人が多いように感じる。
	・訪問介護サービスの有無	・週3回、ヘルパーが自宅に来てくれ、身の回りの手伝いを受ける。 ・始良市からの情報提供 ・本報告書 68 ページ 個人属性「週3回、ヘルパーが自宅に来て」等記述
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	地域に溶け込めているか自信がない。高齢者サロンもあまり行けていない。私たちの他にも、知り合いがおらず、サロンに参加できていない人がいるようだ。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告書 71 ページ 外出と外出の手段「知り合いが近くにほとんどいない」等記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	知らない。 本報告書 102 ページ 支援組織や NPO の有無「知らない」記述
情報入手	・インターネットの利用可否	・息子から「ネットには手を出すな」ときつく言われており、使わないようにしている。
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用 の程度 ・LINE 若しくはメールの利用可否 ・携帯電話での通話の可否	・テレビや新聞はよく見るようにしている。 ・携帯電話は主に通話だが、サイトの閲覧やメールを少しだけしている。 ・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「インターネットサイトの閲覧 22.2%」 ・本報告書 72 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「ネットは怖い」「メールや LINE は使う」等記述
その他、生活上困っていること		・オンデマンドタクシーやバスを利用したいが、使い方や乗り方が分からなかったり、使い勝手が悪かったりと、積極的に利用したいと思わない。身体障がいもあり、好きな時間に好きな場所に行くというのはなかなか難しいと考えがちだ。 ・防災情報がうまく受け取れるかも不安だ。
		・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「交通手段の確保・充実 35.7%」「防災情報伝達の強化 21.4%」 ・本報告書 73 ページ 暮らしの将来「オンデマンドタクシーも（中略）使いにくそう」「どうやって（避難所に）連れて行けばいいのかわからない」等記述

(2) 明神自治会

表 5-2-3-(2) 始良市・明神自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	明神 五子（いつこ）
	年齢	70
		本報告書 74 ページ 個人属性・年齢
	性別	女性
		・本報告書 110 ページ 性別「女性 57.1%」
		・本報告書 74 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 28.6%」
		・本報告書 74 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	（遺族）年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 57.1%」
		・本報告書 74 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	・経済的にやや不安。・子どもたちに迷惑をかけないようにやりくりしなくてはならない。
		・本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 42.9%」
	世帯人数	2 年前に夫が亡くなって以降は一人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「一人暮らし 42.9%」
		・本報告書 74 ページ 個人属性・世帯人数
	近くに住む親族の有無	近くに子どもが住んでいたが、転勤で家族ごと県外に引っ越した。
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	身体的障がい の有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	既往症	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

移動手段	・運転免許の保有	物損事故を起こしたのを契機に最近になって免許返納したため、自家用車で移動できない。
	・自家用車で移動の可否	・本報告書 77 ページ 外出と外出の手段「事故を起こした」記述
	徒歩での移動	片道 20 分ほど
	可能距離	参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	・買物や通院の移動手段	・運動も兼ねて 15 分ほどかけて近くのスーパーに買物に行っている。ただ先日、疲労が重なり途中で倒れた。今後は何かしらの助けが必要。
	・移動手段の課題	・買物や通院で友人に同乗させてもらうこともあるが、一人でバスに乗ることも多い。バスの運行時間を正確に把握しておらず、うまく利用できていない。 ・乗合タクシーもあるようだが、ほかの利用者への気兼ねもあって、あまり積極的に利用できない。
買物	・本報告書 76 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと 「(歩いての買物は)運動になるし、きつくはない」「買物が苦になってきた」「友達と一緒にしてくれる」等記述	・本報告書 76 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと 「(歩いての買物は)運動になるし、きつくはない」「買物が苦になってきた」「友達と一緒にしてくれる」等記述
	・本報告書 77 ページ 外出と外出の手段「乗合タクシーなど移動手段が整ったとしても(中略)使いにくい」等記述	・本報告書 77 ページ 外出と外出の手段「乗合タクシーなど移動手段が整ったとしても(中略)使いにくい」等記述
買物	・自宅から最も近い日用品	歩いて 10 分程度のところにコンビニがあるが、食料品や日用品はそろわない。以前近くに小売店が営業していたが、現在は閉店中。再開してほしいと思う。
	・食料品店までの移動手段と距離	
買物	・自宅から最も品揃えが良い日用品	・本報告書 104 ページ 自治会内の暮らしの不便「身近食料品購入不便度」「身近日用品購入不便度」高い傾向
	・食料品店までの移動手段と距離	・本報告書 76 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと 「以前はすぐ近くに小売店があった」「自治会内に一軒でもお店ができたなら」等記述

買物	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売や配達、ネットスーパーのサービスがあるとは聞いたことがあるが、詳しいことはわからない。ただ、移動販売があると助かる。注文したものを自宅まで届けてもらうサービスもあれば、なお嬉しい。
		本報告書 104 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」等 低い傾向
医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離	かかりつけ医が遠くなり、バスで行くのは難しいため、これまでは息子にらせてもらっていた。ただ息子も転勤でいなくなり、今はタクシーを利用している。
	・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	・本報告書 104 ページ 自治会内の暮らしの不便「かかりつけ医不便度」「公共交通機関不便度」高い傾向 ・本報告書 76 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「息子にまず相談」「タクシーを利用」等記述
	・訪問医療サービスの有無 ・訪問介護サービスの有無	・有 ・訪問型の生活支援サービスについていろいろ聞いたことはある。もっと詳しく知るために、回覧板などで利用方法などお知らせしたり、利用を補助する人を自治会内に増やしたりといったことができないかと思う。
		始良市からの情報提供
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度 ・地域住民の交流の場の有無	・70歳と高齢化の進む地域ではまだまだ若いいため、地域の高齢者の集いには顔を出しにくいとも思うが、これまで以上に地域の人と日帰り旅行や食事を楽しめる場があればいいと思う。カラオケ大会とかもやりたい。 ・今よりもっと交流をして、楽しく過ごしたり、情報交換ができる機会があれば嬉しい。茶飲み友達がほしい。 ・本報告書 76 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「みんなで移動して食事や旅行を楽しめたらいい」記述。 ・本報告書 79 ページ 暮らしの将来「みんなで集まって（中略）情報を得たり」等記述。
	地域支援組織（お助け隊）の有無	知らない。
		本報告書 104 ページ 支援組織や NPO の有無「知らない」記述

情報入手	・インターネットの利用可否	・最近高齢者を狙った犯罪のニュースをよく見る。インターネットを使いたいと思わない。 ・テレビのニュースをよく見るようにしている。
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用程度	本報告書 78 ページ 情報入手と通信手段，困りごと相談「スマートフォンは持っているが，LINE と電話のみ」「ネットは使わない」等記述
	・LINE 若しくはメールの利用可否	・LINE や携帯電話のメール機能でやり取りができる ・通話もできる。
	・携帯電話での通話の可否	・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「LINE 等の無料メッセージサービス 50.0%」 ・本報告書 78 ページ 情報入手と通信手段，困りごと相談「スマートフォンは持っているが，LINE と電話利用のみ」等記述
その他，生活上困っていること		・「ほかの人を待たせてしまう」気がして，乗合タクシーはあまり気乗りしない。 ・日ごろからバスを使っているが，バスの運行コースや接続など，まだまだわからないことが多い。乗り方の体験やアドバイスをもらえる機会があれば嬉しい。 ・近所が最近空き家になった。庭木の倒木など，たまに心配になる。
		・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「交通手段の確保・充実 28.6%」「日常生活の支援 42.9%」 ・本報告書 79 ページ 暮らしの将来「バスの乗り方の（中略）指導をしてもらえる機会があるといい」「（バスが）どのコースをとおり，（中略）料金や時刻も把握していない」等記述。

5-2-4 湧水町

(1) 二渡自治会

表 5-2-4-(1) 湧水町・二渡自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	二渡 六子（むつこ）
	年齢	82
		本報告書 80 ページ 個人属性・年齢
	性別	女性
		・本報告書 110 ページ 性別「女性 62.5%」
		・本報告書 80 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 68.8%」
		・本報告書 80 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	（遺族）年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 93.8%」
		・本報告書 80 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	経済的にやや不安。
		本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 50.0%」
	世帯人数	一人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「一人暮らし 31.3%」
		・本報告書 80 ページ 個人属性・世帯人数
	近くに住む親族の有無	近くに娘が住んでいる。
		本報告書 80 ページ 個人属性
	身体的障がい の有無	なし
		参考データや具体的な記述がなく，独自で設定
	既往症	高血圧やリウマチの持病がある
		本報告書 80 ページ 個人属性

移動手段	・運転免許の保有 ・自家用車で移動の可否	鹿児島市や霧島市の中心部と違い、湧水町では車がないと生活が成り立たない。家に引きこもってしまうより、運転できる間は運転するつもりだ。
		・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 93.8%」 ・本報告書 82 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「身近な店でそろわない」「車をいつまで使用できるか不安」等記述。
	徒歩での移動 可能距離	片道 5 分ほど
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・自家用車を使って移動している。もし免許返納することになれば、近くに住む親族に依頼するか、タクシーや送迎サービスを使うことになる。 ・乗合タクシーもあれば便利だとは思いますが、他の利用者への気兼ねもあって、あまり積極的に利用できない。 ・町などで乗合バスを出してもらえれば、将来的には利用することもあると思う。 本報告書 83 ページ 外出と外出の手段「免許を返納すると、（中略）家に引きこもってしまう」「（免許返納後は）タクシーを使ったりする」「ライドシェアもいいが、（中略）乗り合わせて移動するのが苦手」等記述
買物	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離 ・自宅から最も品揃えが良い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	市街地から遠い他の自治会に比べ、買物にはあまり苦労していないが、必要なものが近くの店ではそろわなかったり、複数のお店を回らないといけなかったり、不便は少なくない。
		・本報告書 106 ページ 自治会内の暮らしの不便「食料・日用品不便度」等 低い傾向 ・本報告書 82 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「町内では必要費がそろわない」「（品物がそろわず）2，3 軒回る」等記述

買物	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	・JAの移動販売車が週に1回来ているようだが、利用はしていない。 ・このほか、配達や買物代行、ネットスーパーの各サービスがあるようだが、具体的なことあまり知らない。
		・本報告書 82 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「移動販売車が集落内に来る」等記述 ・本報告書 106 ページ 困っている方向け支援・サービス「配達サービス認知度」「買物代行サービス」等 高くない傾向
医療福祉	・かかりつけ医までの移動手段と距離 ・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	・かかりつけ医は車でそう遠くない場所にあるが、専門医や特定の診療科は受診できる日が限られており、遠方まで出向く必要がある。
		・本報告書 106 ページ 自治会内の暮らしの不便「受診機会不便度」低くない傾向 ・本報告書 82 ページ 買物や移動など日常生活での困りごと「専門的な医療を受けるには（中略）遠方に通院する必要あり」等記述
	・訪問医療サービスの有無 ・訪問介護サービスの有無	・有 →訪問介護（ホームヘルプ） →訪問入浴介護 →訪問リハビリステーション →訪問看護 →通所介護（デイサービス） →通所リハビリテーション（デイケア） ・訪問型の生活支援サービスについていろいろ聞いたことはあるが、具体的にはあまり知らない。
		・湧水町からの情報提供 ・本報告書 106 ページ 困っている方向け支援・サービス「訪問型生活支援サービス認知度」 低い傾向
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度 ・地域住民の交流の場の有無	いきいきサロンに毎回、町の包括支援センターから職員がやってきて、わからないことはその場で聞くようにしている。
		本報告書 84 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「包括支援センターの職員がやってくる」記述。

困りごとの相談	地域支援組織（お助け隊）の有無	社会福祉協議会のワクワクサービスがある。
		本報告書 106 ページ 支援組織や NPO の有無「社会福祉協議会のワクワクサービス」記述
情報入手	・インターネットの利用可否	・インターネットが便利なのはわかっているが、怖いので利用していない。 ・広報紙をよく見るようにしている。
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用の程度	・本報告書 84 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「（インターネットは）怖い」等記述 ・本報告書 77 ページ「町の広報紙をよく見ている」記述
	・LINE 若しくはメールの利用可否	・メールの使い方を子どもたちから教わったが、入力に時間がかかるため、あまり利用していない。 ・電話の通話はできる。
	・携帯電話での通話の可否	・本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「LINE 等の無料メッセージサービス 42.9%」 ・本報告書 84 ページ 情報入手と通信手段、困りごと相談「メールの使い方を子どもたちから教わった」記述
その他、生活上困っていること		・近所で空き家が目立つ。なにか活用法がないだろうかと考えることが多い。 ・北薩病院といった拠点病院でも医療機器がそろっていても使えない医師がいないと聞く。緊急時の体制が不安。 ・かかりつけ医は近くにいますが、専門となると町内に病院がない。霧島市まで足を延ばす必要があり、不便だ。
		・本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「地域医療の充実 18.8%」 ・本報告書 85 ページ 暮らしの将来「地域医療への不安が一番大きい」「重い病気になると、町内に対応できる病院がない」等記述。

(2) 麓自治会

表 5-2-4-(2) 湧水町・麓自治会のペルソナ

設定項目		
基本属性	名前	麓 二郎
	年齢	85
		本報告書 86 ページ 個人属性・年齢
	性別	男性
		・本報告書 110 ページ 性別「女性 54.5%」 ・本報告書 86 ページ 個人属性・性別
	職業（就労）	無職
		・本報告書 111 ページ 職業「無職 72.7%」 ・本報告書 86 ページ 個人属性・就労状況
	収入の手段	年金
		・本報告書 114 ページ 世帯収入の形態「年金 81.8%」 ・本報告書 86 ページ 個人属性・主な収入
	経済的な不安	・経済的にやや不安。 ・病気を抱えており、今後負担が増す可能性があり不安が尽きない。
		・本報告書 115 ページ 生活に対する経済的不安度「やや不安 63.6%」 ・本報告書 86 ページ 個人属性「先が不安」記述
	世帯人数	妻との 2 人暮らし
		・本報告書 112 ページ 世帯構成「夫婦のみ 90.9%」 ・本報告書 86 ページ 個人属性・世帯人数
移動手段	近くに住む親族の有無	近くにいとこがいる。
		本報告書 37 ページ 相談できる人を基に独自で設定
	身体的障がいの有無	右半身が不自由
		本報告書 87 ページ 日常生活の支援
	既往症	なし
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定
	・運転免許の保有 ・自家用車での移動の可否	障がいがあるため、妻の運転する車で移動することになるが、ヘルパーさんの助けが必要で、なかなか難しい。
		・本報告書 119 ページ 外出の手段「自家用車 72.7%」 ・本報告書 87 ページ 日常生活の支援の記述等から独自に設定。

移動手段	徒歩での移動可能距離	一人での外出はかなり難しい。 本報告書 87 ページ 日常生活の支援の記述等から独自に設定
	・買物や通院の移動手段 ・移動手段の課題	・自家用車を運転する妻に頼っているのが現状。 ・これまで近所の人や近くの親戚に助けてもらっていたが、自治会の高齢化や介護経験がないなど、頼める人も減ってきた。 本報告書 87 ページ 日常生活の支援「近所に頼める人もいない」等記述
	・自宅から最も近い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・市街地まで同じくらいの距離のある他の自治会と比べて、食料や日用品の購入にはそこまで不便は感じていない。 ・配達サービスや買物代行、ネットスーパーといったサービスがあるとは聞いているが、詳しくは知らない。
	・自宅から最も品揃えが良い日用品 ・食料品店までの移動手段と距離	・本報告書 108 ページ 自治会内の暮らしの不便「食料・日用品不便度」「買物機会不便度」等 高くない傾向 ・本報告書 108 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」「買物代行サービス認知度」「ネットスーパーサービス認知度」等 低い傾向
買物	移動販売車や配達、買物代行、ネットスーパーの各サービスの有無	移動販売や配達、買物代行、ネットスーパーのいずれもサービスもあるとは聞いたことがあるが、具体的にはあまり知らない。 本報告書 108 ページ 困っている方向け支援・サービス「移動販売サービス認知度」「配達サービス認知度」「買物代行サービス認知度」「ネットスーパーサービス認知度」等 低い傾向
	・かかりつけ医までの移動手段と距離 ・設備の整った医療機関までの移動手段と距離	市街地まで同じくらいの距離のある他の自治会と比べて、通院や受診でそこまで不便は感じていない。 本報告書 108 ページ 自治会内の暮らしの不便「かかりつけ医不便度」「受診機会不便度」等 高くない傾向
医療福祉		

医療福祉	・訪問医療サービスの有無 ・訪問介護サービスの有無	・有 →訪問介護（ホームヘルプ） →訪問入浴介護 →訪問リハビリステーション →訪問看護 →通所介護（デイサービス） →通所リハビリテーション（デイケア） ・福祉サービスが予約でいっぱいになっていることも多く、そう簡単に利用できない。 ・家事や介助ではなく、ヘルパーさんに一日見守りをしてもらうサービスがあると嬉しい。 ・私は訪問サービスを利用しているが、自治会内には「訪問型の生活支援サービスについていろいろ聞いたことはあるが、具体的にはあまり知らない」という人が多いように感じる。
		・湧水町からの情報提供 ・本報告書 87 ページ 日常生活の支援「（福祉サービスが）予約でいっぱい」等記述 ・本報告書 108 ページ 困っている方向け支援・サービス「訪問型生活支援サービス認知度」 低い傾向
困りごとの相談	・隣近所との付き合いの程度	これまで近所の方に助けてもらっていたが、高齢化や仕事などで頼める人がいなくなった。
	・地域住民の交流の場の有無	本報告書 87 ページ 日常生活の支援「近所の人（中略）助けてもらっていたが、（中略）頼める人がいなくなった」記述
	地域支援組織（お助け隊）の有無	知らない。
		本報告書 108 ページ 支援組織や NPO の有無「知らない」記述
情報入手	・インターネットの利用可否	インターネットはあまり使っていない。
		本報告書 120 ページ 情報通信機器の利用有無「利用していない 27.3%」
	・テレビや新聞からの情報入手 ・行政広報紙の活用程度	外出があまりできないので、広報紙や新聞、テレビをよく見ている。
		参考データや具体的な記述がなく、独自で設定

情報入手	・ LINE 若しくはメールの利用可否	・ メッセージはメールのみで、LINE は難しい。 ・ 電話通話ができる。
	・ 携帯電話での通話の可否	・ 本報告書 121 ページ 情報通信機器の利用目的「LINE 等の無料メッセージサービス 25.0%」
その他，生活上困っていること	・ 地域医療の充実を図ってほしい。 ・ 交通手段の確保も課題。	
	本報告書 122 ページ 住まいの地域への望ましい施策「地域医療の充実 45.5%」「交通手段の確保・充実 27.3%」	